

浦幌町立博物館だより

2024(令和6)年8月号



編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp

浦幌炭鉱と戦争 企画展「閉山から70年 浦幌炭鉱」 展示資料から(開催中|9/29まで)



4月11日まで、勤労報国隊員として、浦幌炭鉱での勤務を命ぜられました。神谷氏はそのときの様子を日記風にノートに綴っています。勤労報国隊による炭鉱労働の実際を知る上で、貴重な資料です。

同じ頃、浦幌炭鉱では多くの朝鮮人労働者の方々も働いていました。1939(昭和14)年10月、朝鮮人労働者の集団移入が許可され、さらに1944(昭和19)年には徴用制に切替えられたのです。この結果、朝鮮人労働者は、全国炭鉱従業員40万人中の13万人(32%)に達しました。

「浦幌坑山史」によると、1943(昭和18)年4月現在、日本人労働者405人に対して472人の朝鮮人労働者が記録されています。それが、1944(昭和19)年8月には、日本人340人、朝鮮人(498)人となります。

戦争によって、熟練した炭鉱夫が兵隊にとられていくなか、炭鉱での労働はこうした人々によって支えられていました。閉山から70年、伝えられていくべき、浦幌炭鉱史の一断面です。

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)



勤労報国隊員神谷重雄氏の資料と決戦増産手当の明細書

直接戦争のエネルギーとなる石炭の増産は国家的命題となります。政府は1941(昭和16)年末に「国民勤労報国協力令」を発令し、これに呼応する形で「勤労報国隊」が各地に編成され、「決戦必勝増産運動」など精神論的な増産体制が敷かれました。

豊頃村(現豊頃町)の神谷重雄氏は1944(昭和19)年2月12日から同年

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

戦前の植物標本



7月、浦幌小学校の理科室から、戦前の植物標本が100点あまり、木箱に納められた状態で見つかりました。昭和12年前後のもので、現在、整理作業を進めています。

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

現代民俗学入門 身近な風習の秘密を解き明かす



島村恭則 編
2024年4月 創元社 発行

還暦の時に赤いものを着けるのはどうしてなのか?

土用の日にウナギを食べるのはなぜか? そんな身の回りで見ることができる風習の不思議を、民俗学者が読み解きます。

私たちが親しんでいる風習から触れられる民俗学を、ぜひお楽しみください。

(浦幌町立図書館 司書 部田麻紗乃)

【配架場所】
一般書・社会科学
分類 380.1/ゲ



8月の博物館お知らせ

夏の企画展

閉山から70年-浦幌炭鉱-

2024年
7月20日(土)

9月29日(日)
10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール
主催:浦幌町立博物館

1954(昭和29)年の閉山から70年
が経過した浦幌炭鉱は、十勝地方で
唯一の石炭炭鉱でした。浦幌は、十勝
地方には珍しい炭鉱町だったのです。

所蔵資料や写真などを用いて、浦幌
炭鉱の歴史を振り返ります。



トピック展

戦争関係資料

残された資料から
戦時を振り返る

7月14日(日)

8月15日(木)
10:00~18:00

場所:博物館常設展示室内

戦争柄の着物、寄せ書きの日の丸、
軍靴、鉄兜、開戦を告げる新聞など、当
館所蔵の戦争関係資料を展示します。
残された資料から、戦時中の世の中
の「空気感」を感じてみましょう。



モニタリングサイト1000里地調査

移動博物館

豊北植物調査会

日時: 8月3日(土) 9:00~12:00

集合: 浦幌町立博物館

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

毎月1回決まったルートの開花状況を調査して歩きます。

オオアワダチソウをどんどん抜くぞ!

8月24日(土) 10:30~12:00

場所: 豊北原生花園

集合: 浦幌町立博物館(9:30出発)

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

※お車の方はスコップ、軍手ご持参ください。

もともとは海岸草原になかった外来植物オオアワダチソウを根こそぎ抜き取り、原生花園の植生を保全します。



入館料: 無料

開館時間: 10:00~18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、
資料調査等は事前に電話かメール
にてお申し込みください。

8月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休館日: 月曜日・祝日の翌日

8月30日(金)は月末資料整理日で
休館いたします。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)



駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp